

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら野田教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 15日	～	2025年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 9月 2日	～	2025年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 13日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援前には職員間で打ち合わせを行い、内容や役割の確認をしている。	毎朝朝礼を行い、活動の流れや職員の役割などの確認を行っている。それぞれの活動時間の目安も確認し、職員全員が支援の流れを把握して支援できるようにしている。	プログラムの内容を事前に確認をしたり、どの部分を大切に支援を行っていくか把握しておく。 プログラムに必要なものも事前に準備を行い、当日スムーズに行えるようにする。
2	プログラムが固定化されないように工夫されている	曜日によって取り組むプログラムの内容が重ならないようにしている。また、季節に応じたプログラムも取り入れ、各曜日で取り組めるようにバランスを見ながら作成している。	決まったプログラムの他にも、集団遊びや読み聞かせを取り入れ、充実した活動にできるようにしていく。プログラムの手順についても職員全員で共通理解をして支援に臨めるようにしていく。
3	ミーティングや各種研修会を開催したり、外部の研修にも参加できるような機会を作っている。	定期的にミーティングを開催し、支援内容や感染症や虐待防止などの各種研修会を行っている。外部の研修にも参加しやすいように、費用の負担や、スケジュール調整などを行っている。	ミーティングの欠席者にも内容が共有できるように、議事録を作成したり、朝礼や昼礼、終礼でも内容を周知していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会などを開催し、保護者同士でのコミュニケーションの場を設けることができていない。	保護者会を開催する体制がなかなか作れていない。	日程を調整して、保護者会を開催できるよう検討していく。 営業時間内は開催が難しいので、営業時間外も検討する。
2	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた活動ができていない。	個人情報の観点や、安全面を考慮して現在の段階では対応できないため、開催することはできていない。	安全面や個人情報保護の面を考慮しながら、地域に開かれた活動ができないか方法を考えていきたい。
3	地域の中で他の施設の子どもと関わる機会が少ない。	安全面を考えると、他施設との関わる機会を持つことが難しく、出来ていない。	外出プログラムなど、他教室と交流できるような場を作りたいけるようにしたい。職員の体制なども工夫しながら安全に行えるようにしたい。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら野田教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 15日 ~ 2025年 7月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 9月 2日 ~ 2025年 9月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 13日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの相談があれば、面談や電話で迅速に対応している。	保護者からの相談があった場合には、すぐに対応できるように連絡を取れる体制を作っている。また、必要に応じて面談も行えるように日程調整を行っている。	保護者からの相談や連絡が迅速に伝達されるように、連絡表に記入を行う。連絡を受けた職員はすぐに、管理者へ報告するように徹底する。
2	プログラムが固定化されないように工夫されている	曜日によって取り組むプログラムの内容が重ならないようにしている。また、季節に応じたプログラムも取り入れ、各曜日で取り組めるようにバランスを見ながら作成している。	決まったプログラムの他にも、集団遊びや読み聞かせを取り入れ、充実した活動にできるようにしていく。プログラムの手順についても職員全員で共通理解をして支援に臨めるようにしていく。
3	ミーティングや各種研修会を開催したり、外部の研修にも参加できるような機会を作っている。	定期的にミーティングを開催し、支援内容や感染症や虐待防止などの各種研修会を行っている。外部の研修にも参加しやすいように、費用の負担や、スケジュール調整などを行っている。	ミーティングの欠席者にも内容が共有できるように、議事録を作成したり、朝礼や昼礼、終礼でも内容を周知していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会などの開催ができていない。	保護者会を開催する体制がなかなか作れていない。父母の会は保護者の負担を考えるとなかなか難しい。	体制が取れないことを解消するべく、営業時間以外での開催を考える。今後開催を計画していきたい。
2	地域に開かれた活動ができていない。	個人情報の観点や、安全面を考慮して現在の段階では対応が難しく、開催することはできていない。	安全面や個人情報保護の面を考慮しながら、地域に開かれた活動ができないか方法を考えていきたい。
3	地域の中で他の健常児と交流する機会が作れていない。	安全面を考えると、他施設や健常児と関わる機会を持つことが難しく、出来ていない。	外出プログラムなど、他教室と交流できるような場を作りたい。職員の体制なども工夫しながら安全に行えるようにしたい。